

# 平成31・令和元年度 事業報告

各事業間において、ボランティアとして活動していただける方が増えたことが大きな成果です。語学文化講座の参加者が国際協力貢献事業の通訳に、日本語教室の受講生が人材育成事業でのボランティアに、人材育成事業の講師が来年度語学文化講座の講師などにと、それぞれ活躍していただきました。このように、参加して終わりではなく、ボランティアとして他の事業活動に積極的に関わっていただける方が増え、来年度以降の活動を充実したものにすることが期待できます。

## 1. 国際化に関する事業

### 国際協力貢献

官公庁発行又は提出のための証明書の翻訳、学校面談などの通訳を会員サービスとして行いました。

その他、他団体からの依頼や協力の下、通訳や国際交流のサポートを行いました。



### セルビア共和国水球男子代表チーム等 海外からの合宿受入れに協力

7月5日から11日まで、セルビア共和国代表男子水球チームが、韓国光州で開催された第18回世界水泳選手権大会の事前合宿のために来柏されました。合宿期間中は、通訳として言語文化サポーター8名スタッフ3名が対応しました。シンガポール、フィリピン、オーストラリア、中国、台湾からのチームへの通訳対応にも協力しました。また、これに伴う事前準備やオリンピックに向けた合宿の誘致活動などの文書翻訳や国際儀礼に関するアドバイスなども行いました。

### 刈羽つばさの会 ホームステイ受入協力

7月19日から8月10日まで、米国カリフォルニア州ハーフムーンベイの高校生2名を刈羽つばさの会が受け入れました。滞在中の事業の通訳などに協力しました。この2名は、8月1日当協会主催のサマースクールにも参加し、講師補助のボランティアをしていただきました。



### 中国淮安區友好交流訪問団

柏崎市友好交流推進事業で、8月3日から7日まで中学生10名が中国江蘇省淮安區を訪問しました。その実行委員会委員長には新野理事長が就任しました。また、市内企業に勤務する宋佩遥氏に言語文化サポーターとして同行通訳をお願いしました。当協会が協力する事前研修として、渡航に関する注意の講義や中国語学習などを行いました。

## おもてなし外国語講座

英語と中国語、韓国語の講座を実施しました。この語学講座の参加者の中から、言語文化サポーターの通訳ボランティア、防災訓練多言語支援センター設置訓練などへ積極的な参加も得られ、生涯学習の場としてだけでなく、多文化共生の地域づくりの入口として重要な役割を担っています。

また、新規の受講者もそれぞれの講座で少しずつ増えてきています。冬期の3月予定分は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としました。

参加者数	はじめてコース		おもてなしコース				計
	英会話発音編	英会話会話編	英会話昼	英会話夜	中国語	韓国語	
春期	8	16	11	9	7	—	51
秋期	8	15	10	11	4	5	53
冬期	7	12	8	6	—	6	39
	23	43	29	26	11	11	143

## 多文化理解

海外の文化を現地出身講師から学ぶ講座を中心に行いました。民間交流のために来日されたゲストとの交流会も行いました。これらを通して、真の多文化理解につながるように企画し、実施しました。

### 多文化理解講座 北マリアナ諸島・サイパン

7月20日に北マリアナ諸島・サイパン出身の柏崎市外国語指導助手のジェシー リカルド シライ ムナ氏に講師を務めていただきました。グループでゲームをしたり、チャモ口語の歌を歌ったりと参加型の講座でした。初対面の人同士でも打ち解けられるよう講師が工夫してくださり、参加者には大変好評でした。参加者は、25名でした。



### 日韓文化交流会 茶道



民間レベルの日韓親善交流を目的とし韓国ソウル三松ジョウン教会18名が来柏。市民との交流を希望され、茶道を教えている言語文化サポーターや韓国語学習者、韓国出身の市民などと茶道を通して交流しました。参加者は、36名でした。

おもてなしへのお礼として歌やダンスを披露してくれました。日韓双方の参加者から、それぞれ国でよくない感情があると報道されていましたが、実際に会ってみると想像以上に温かい交流ができ、感動したとの言葉をいただき、民間交流の良さを実感しました。

### 多文化理解講座 韓国

韓国に関する講座の要望が寄せられることが多く、この講座を企画しました。市内在住の村田智慧氏、川崎順子氏をお迎えし、韓国料理を実際に作りながら、韓国の食文化について教えていただきました。手軽に作れるが、本格的な韓国料理ということで参加者の方からも、是非次回も企画してほしいという要望が寄せられるほどでした。参加者は、25名でした。



## サマースクール 世界の友だちとあそぼう



小学生向けの多文化理解講座「サマースクール」。オリンピック五大陸を意識した「世界の友だちとあそぼう」をテーマに、アメリカ(北米)は市内在住のローラ モルト氏と刈羽村に滞在中のハーフムーンベイ高校のカイ ゲバラ氏、カールソン アンダーソン氏。タンザニア(アフリカ)は、JICA青年海外協力隊員の猪俣拓氏、バングラディッシュ(アジア)は、新潟産業大学留学生アディクル ラホマン氏をそれぞれ講師に迎え、実施しました。33名の小学生が参加し、熱心にメモを取り、スワヒリ語を声に出したり、英語で質問をしたりと海外に関心を持ち、身近に世界を感じる機会となりました。

## アジアを知る 台湾最新事情

新潟産業大学詹秀娟名誉教授から、日台関係の歴史から直近の総統選挙、観光情報、新潟県のインバウンド事情まで幅広くご講演いただきました。ニュースだけでは分からない情報も多く、台湾をより深く理解することができました。行ったことがある方や行きたい方も多く、参加者は34名でした。



## 2. 情報収集提供事業

### 多言語情報運営



山形県沖地震  
Facebookでの  
発信

協会が発信する情報の多言語化を進めました。

また、日本語教室の案内文を言語文化サポーターの協力により、やさしい日本語、英語、中国語(簡体字)、韓国語、ベトナム語、インドネシア語、タガログ語で作成し、関係各所に配布しました。

6月18日の山形県沖地震の際には、柏崎市の依頼により多言語情報センターを設置し、Facebook上で広報かしわざきの内容をやさしい日本語と英語で発信しました。大雨警報や台風など緊急性のある情報については、まずやさしい日本語・英語で送信し、言語文化サポーターにより、インドネシア語、スペイン語、韓国語、中国語(簡体字)、ベトナム語、タガログ語を加えて伝えました。

新型コロナウイルス感染症に関する情報については、協会ホームページとFacebookにやさしい日本語・英語などで発信しました。

### 広報啓発

講座に参加してくださる方や活動を応援してくださる方を中心に個人96名と30団体の皆様に賛助会員になっていただきました。個人団体ともに複数口数お申込みいただく方もおられます。

また、協会ニュースを3月に発行し、市内町内会での回覧を行いました。

## 3. 活動協力育成事業

### 人材育成

(公財)新潟県国際交流協会の国際化推進活動助成事業を受託し、多文化共生ボランティア育成事業として活用しました。今年度は3年計画の最終年度で、通訳研修及び「生活ガイド柏崎」の作成しました。他に、日本語指導者向けの各種研修への参加、柏崎市総合防災訓練で多言語支援センター設置運営訓練も行いました。

## 通訳研修



英語、中国語、月1回それぞれ全9回実施しました。この研修では特に文化の違いや相手に伝わる表現を身に付ける内容としました。予約なしで気軽に参加いただけたこともあり、当協会事業に初めて参加いただく方がいて、そのままサポーター登録いただいたりと通訳ボランティアへの入口の役目を果たした事業となりました。中国語は延べ45名、英語は延べ62名の参加でした。

## 生活ガイド柏崎

柏崎版生活ガイドを作成するために、意見交換を含めた研修を2回実施しました。海外出身者と海外長期滞在経験のある方に参加していただき、生活上困ったことを分かち合い、紙面構成などの提案も話し合いました。10か国、延べ38名の言語文化サポーターを含む大勢の協力を得て作成することができました。内外から生活者の視点がよくいかされているという感想をいただきました。



## 柏崎市水害対応総合防災訓練 多言語支援センター設置運営訓練



6月28日に、中鯖石地区で開催された水害を想定した総合防災訓練に言語文化サポーターとスタッフの10名で参加しました。災害情報の翻訳と掲示、防災関連の展示見学及び体験を行いました。参加者の出身国は、イラン、バングラディシュ、ジャマイカ、ベトナム、日本で、終了後のミーティングでは、それぞれ出身国の災害や対応について情報交換をし、防災に対する知識を確認し合いました。

## 民間協力

特定非営利活動法人シャプラニールへ使用済切手や書き損じはがきなどを、公益財団法人日本ユニセフ協会へは外国コインを寄付するために、協会窓口に収集ボックスを設置しました。

## 4. 地域協働支援事業

### 生活相談

今年度は、194件の相談が寄せられました。多かった相談は、国際交流、日本語学習支援、水球関連の通訳翻訳等です。直接外国人住民の方が相談に来られたり、国際結婚の手续や、児童生徒の日本語学習についての相談も多く寄せられました。

### 日本語支援



毎週金曜日昼、夜のクラスを開講しています。参加者は、昼15名、夜16名、計31名の方が在籍しており、技能等実習生、会社員、日本人配偶者、外国語指導助手(ALT)、学生などが通っていました。勤務先の方から「日本語ができないから」と勤務時間内に仕事を抜けて来られる方もいましたが、実際は、話す日本語に慣れていないだけだったという事例もありました。教室では、季節の行事も取り入れ、言語に関連する日本文化に親しむ時間も設けました。また、在住外国人の数少ない居場所としての役割も果たしました。



公益財団法人柏崎地域国際化協会

貸借対照表  
令和2年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
預金	7,550,888	7,599,093	△ 48,205
流動資産合計	7,550,888	7,599,093	△ 48,205
2 固定資産			
基本財産			
有価証券	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
その他の財産			
地域国際化事業積立預金	400,000	350,000	50,000
退職給与引当預金	420,005	360,005	60,000
特定資産計	820,005	710,005	110,000
固定資産合計	100,820,005	100,710,005	110,000
資産合計	108,370,893	108,309,098	61,795
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	0	150,613	△ 150,613
預り金	125,670	155,193	△ 29,523
前受金	11,000	0	11,000
流動負債合計	136,670	305,806	△ 169,136
2 固定負債			
地域国際化事業積立引当金	400,000	350,000	50,000
退職給与引当金	420,005	360,005	60,000
固定負債合計	820,005	710,005	110,000
負債合計	956,675	1,015,811	△ 59,136
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
地方公共団体出捐金	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	100,000,000	0
2 一般正味財産			
一般正味財産	7,414,218	7,293,287	120,931
(うち当期正味財産増減額)	120,931	162,625	△ 41,694
正味財産合計	107,414,218	107,293,287	120,931
負債及び正味財産合計	108,370,893	108,309,098	61,795

公益財団法人柏崎地域国際化協会

貸借対照表内訳表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業	法人管理	合計
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
預金	2,331,063	5,219,825	7,550,888
流動資産合計	2,331,063	5,219,825	7,550,888
2 固定資産			
基本財産			
有価証券	100,000,000	0	100,000,000
基本財産計	100,000,000	0	100,000,000
その他の財産			
地域国際化事業積立預金	400,000	0	400,000
退職給与引当預金	0	420,005	420,005
特定資産計	400,000	420,005	820,005
固定資産合計	100,400,000	420,005	100,820,005
資産合計	102,731,063	5,639,830	108,370,893
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
預り金	5,654	120,016	125,670
前受金	11,000	0	11,000
流動負債合計	16,654	120,016	136,670
2 固定負債			
地域国際化事業積立引当金	400,000	0	400,000
退職給与引当金	0	420,005	420,005
固定負債合計	400,000	420,005	820,005
負債合計	416,654	540,021	956,675
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
地方公共団体出捐金	100,000,000	0	100,000,000
指定正味財産合計	100,000,000	0	100,000,000
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	0	100,000,000
2 一般正味財産	2,314,409	5,099,809	7,414,218
正味財産合計	102,314,409	5,099,809	107,414,218
負債及び正味財産合計	102,731,063	5,639,830	108,370,893

公益財団法人柏崎地域国際化協会

正味財産増減計算書  
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差 異(当-前)
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	522,000	522,000	0
その他の財産運用益			
その他の財産受取利息	4	4	0
受取会費			
賛助会員会費	458,000	487,000	△ 29,000
事業収益			
国際化事業収益	1,684,893	1,820,104	△ 135,211
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金等	6,250,000	6,250,000	0
受取寄付金			
受取寄付金	35,000	0	35,000
雑収益			
受取利息	296	294	2
雑収益	0	152	△ 152
経常収益計	8,950,193	9,079,554	△ 129,361
(2) 経常費用			
給与	4,128,000	4,128,000	0
臨時雇賃金	935,900	933,940	1,960
法定福利費	643,744	640,541	3,203
福利厚生費	25,080	27,782	△ 2,702
退職給付引当金繰入額	60,000	60,000	0
会議費	93,840	94,164	△ 324
旅費交通費	117,710	112,460	5,250
通信運搬費	170,692	147,568	23,124
消耗品費	181,239	223,237	△ 41,998
印刷製本費	312,697	424,797	△ 112,100
賃借料	120,443	101,725	18,718
諸謝金	1,850,105	1,825,765	24,340
支払負担金	70,000	24,000	46,000
支払助成金	0	0	0
支払寄付金	0	0	0
雑費	69,812	72,950	△ 3,138
地域国際化事業積立預金繰入額	50,000	100,000	△ 50,000
経常費用計	8,829,262	8,916,929	△ 87,667
当期経常増減額	120,931	162,625	△ 41,694
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期一般正味財産増減額	120,931	162,625	△ 41,694
一般正味財産期首残高	7,293,287	7,130,662	162,625
一般正味財産期末残高	7,414,218	7,293,287	120,931
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金等	6,250,000	6,250,000	0
一般正味財産への振替額	6,250,000	6,250,000	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0
III 正味財産期末残高	107,414,218	107,293,287	120,931

公益財団法人柏崎地域国際化協会

正味財産増減計算書内訳表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業	法人管理	合計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産運用益	366,000	156,000	522,000
その他の財産運用益			
その他の財産運用益	2	2	4
受取会費			
賛助会員会費	458,000	0	458,000
事業収益			
国際化事業収益	1,684,893	0	1,684,893
受取補助金等			
受取負担金等	5,250,000	1,000,000	6,250,000
受取寄付金			
受取寄付金	35,000	0	35,000
募金	0	0	0
雑収益			
受取利息	296	0	296
雑収益	0	0	0
経常収益計	7,794,191	1,156,002	8,950,193
(2) 経常費用			
給与	3,440,000	688,000	4,128,000
臨時雇賃金	935,900	0	935,900
法定福利費	523,273	120,471	643,744
福利厚生費	0	25,080	25,080
退職給与引当金繰入額	0	60,000	60,000
会議費	71,040	22,800	93,840
旅費交通費	114,470	3,240	117,710
通信運搬費	78,744	91,948	170,692
消耗品費	176,827	4,412	181,239
印刷製本費	312,097	600	312,697
賃借料	120,443	0	120,443
諸謝金	1,850,105	0	1,850,105
支払負担金	70,000	0	70,000
支払助成金	0	0	0
支払寄付金	0	0	0
雑費	1,130	68,682	69,812
地域国際化事業積立預金繰入額	50,000	0	50,000
経常費用計	7,744,029	1,085,233	8,829,262
当期経常増減額	50,162	70,769	120,931
当期一般正味財産増減額	50,162	70,769	120,931
一般正味財産期首残高	2,264,246	5,029,041	7,293,287
一般正味財産期末残高	2,314,408	5,099,810	7,414,218
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金	5,000,000	1,000,000	6,000,000
民間団体委託金	250,000	0	250,000
一般正味財産への振替額	5,250,000	1,000,000	6,250,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	0	100,000,000
指定正味財産期末残高	100,000,000	0	100,000,000
III 正味財産期末残高	102,314,408	5,099,810	107,414,218



財 産 目 録  
令和2年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
流動資産	預金	普通預金 柏崎信用金庫 本店	運転資金として	4,720,480	
		定期預金 柏崎信用金庫 本店	運転資金として	2,830,408	
流動資産合計				7,550,888	
固定資産	基本財産	有価証券	139回共同発行市場 公募地方債 みずほ証券	公益目的保有財産であり、 運用益を国際化協会の事業 及び管理目的の財源として 使用している。	50,000,000
			149回共同発行市場 公募地方債 野村証券		50,000,000
	その他の 財産	地域国際化事業 積立預金	普通預金 柏崎信用金庫 本店	地域国際化事業実施のため の積立金	400,000
			退職給与引当預金	退職金支給に向けての積立 金	420,005
固定資産合計				100,820,005	
資産合計				108,370,893	
流動負債	未払金	未払のもの	社会保険料、電話料、講師 謝金等	0	
	預り金	職員、講座講師から預 かっているもの	源泉所得税、市県民税、社 会保険料等未払のもの	125,670	
	前受金	賛助会員	令和2年度賛助会費前受分	11,000	
流動負債合計				136,670	
固定負債	地域国際化事業 積立引当金 退職給与引当金		地域国際化事業のための引 当金	400,000	
			退職金支給のための引当金	420,005	
固定負債合計				820,005	
負債合計				956,675	
正味財産				107,414,218	

